

5月～7月のイベント(協会主催・後援、加盟団体主催等)

※協会主催・後援、協会加盟団体の催しを中心に掲載しています。その他の催しは八丈島文化協会サイト内の「八丈島イベントカレンダー」をご参照ください。

5月
20(日) 八丈名流祭

6月
2(土)・3(日) 龍生派八丈支部60周年華展
9(土) 10(日) 小原流八丈支部 花の輪・人の輪、みんなの花展(協会後援)
※年間イベントカレンダー掲載の日程が変更になりました。

7月
20(金)～22(日) 八丈島夏まつり(加盟団体がステージに出演します)
24(火) 北大東島太鼓交流公演(協会後援)

八丈島文化協会 会報 第23号

八丈町三根4869-1 八丈島文化協会事務局 Tel/Fax 2-2833
HP: <http://www.8jobunka.jimdo.com/> e-Mail: bunkakyoukai8jo@yahoo.co.jp

2018年5月15日発行

文化協会第7回総会は6月2日(土)

八丈島文化協会 会長 内山江差夫

協会の活動をさらに前へ

第7回文化協会総会を6月2日(土)午後6時から、農協本店で開催します。会員(団体会員、個人会員、賛助会員)の皆さんの多数のご出席をお願いいたします。出席が困難な方は、開催通知に同封の委任状の提出(FAXも可です)をお願いいたします。総会の議事終了後には、出席者の懇親会(会費3000円)を開きますので、併せてご出席下さい。

設立総会から5年6ヶ月、協会は団体・個人・賛助会員を合わせて61の会員を抱えるまでになりました。会員の期待と多様なニーズに応えられる活動ができるように、前回の総会以来がんばってきましたが、活動が地域に根付いてきたかと言えばまだまだの現状にあります。

今年度が協会の地域活動にとって一歩前進したと評価されるように、総会での皆さんの意見、要望をいただきながら、主要な柱として以下のことに一層の力を注いでいきたいと思います。

一つは、地域に定着しつつある協会主催の各種イベントの充実と力注ぎ、他の文化団体等との協力や支援にも努力します。

二つは、会員のニーズに応えるには、協会の組織体制を少しでも力強いものにしなくてはなりません。そのため理事会をはじめ協会の活動強化に力を注ぎ、相応しい人づくりにもがんばります。

三つは、豊かな地域活動をみんなで楽しく創造していくためには、弱体な財政基盤の強化が必要です。財政充実には特段の精力を注ぎます。

四つは、文化活動は島の地域づくり活動でもあります。文化を通じた地域活性化、地域振興に主催イベント等を位置づけ、地域や行政など関係団体と協働し頑張るつもりです。

総会は、第6回総会後の活動の良かった点と反省点を点検・総括し、第7回からの1年間でやるべきこと、やりたいことを検討・協議し決める機会です。皆さん一人ひとりの意見や提案が協会を前に進めてくれます。協会の活性化のために、多くの会員の皆さん方のご出席をお願いいたします。

第7回文化協会総会

日時:6月2日(土) 午後6時～

会場:JA八丈島支店 2階研修室

* 懇親会:総会終了後、同会場にて(会費3000円)

お知らせ

文化協会は、充実した理事会が必要だと考えています。理事に立候補されたい会員の方は、年度途中でも協会までお申し出ください。理事は理事会で選出し活動していただき、直近の総会で承認を得ることになっています。

文協コラム「南風」

No. 18

『新年度』

◆新年度が始まった。文化協会は、島ではまだ新米団体だが早いもので6年目の活動となる。活動年数を重ねながら新たな歩みを構築しているなあと、思ふ。◆たかが6年目といえどもいろいろなことが脳裡を覆う。うまくいったことはじきに忘れ去るが、失敗して協会に迷惑をかけたことは容易に忘れられない。これからも続くのだろうか。◆日本では4月から3月を年度として動いているが、何故そのように決めたのだろうか。1月から12月にすればいいのと思いつつ、私だが、私なりにそう決つた理由を考えてみると「ああだろう」「こうかも」といろいろ思い浮かぶが、決めるのであるからあまり詮索はやめて、新年度からまた1年がんばろうという気持ちだ。◆それでも、4月を迎えたこの時期になつて、協会という組織の中に入ると、年始めの元旦のようにリセットされて「一年の計は新年度にあり」の気分になる。永年宮仕えという組織の中にいたせいでどうか。◆私が生涯の仕事としての既成組織を退いた後、文化協会のような「自主的組織」に関わるようにな

つて10数年が経つたが、同じ組織とはいえず、あり方は大きく異なる。◆現役の頃に働いた生活の糧としての既成組織も、退職後の自主的活動の自主組織も、それぞれに個性的な特徴があつて、メリット・デメリットを持ち合わせているが、個人的には両方でもともない体験をさせてもらつてきた。今は全くの無報酬であるが、昔より多忙の日々だと実感して、本人は大いに満足している。地域づくりの先端にいるのかも、自己を激励しハッパをかけている。◆そして、4月から当の本人は「新年度だ!」とこれからの1年間どうしようかとあわて出し、血まなこになってH30年度の新しい文化協会の活動を探し出そうと思ひ悩んでいる。◆文化協会員の皆さん!、そしてこの会報に目を通してくださっている会員でない皆さん!、それぞれの活動の場で日々多忙のことと思ひますが、まだまだ新米の文化協会のご支援・ご協力を本年度もよろしくお願ひしますと、心から思っている平身低頭の「新年度」です。

(会長 内山 江差夫)



中東とイスラム世界学ぶ講座に93人

島民大学講座 3/15・16

第74回八丈島民大学講座が、3月15日(木)・16日(金)の午後7時から、七島信用組合八丈島支店2階ホールに、酒井啓子千葉大学教授(中東政治・グローバル関係融合研究センター長)を招いて開催された。テーマは「中東から見える世界と日本～中東問題とは何か～」。

1日目は「現代中東の諸紛争を読み解く：9.11事件からイラク戦争、『イスラーム国』とシリア内戦まで」。なぜ中東起源のテロや紛争が絶えないのか、その歴史的背景に大国のエゴがあることを学んだ。(受講者50人)

2日目は「現代中東問題の根源：中東の発祥起源とパレスチナ問題」。13世紀から19世紀初頭にかけて中東から東欧まで勢力を伸ばしたオスマン帝国が減ったあと、英国の主導で行われた「トリプル・ブッキング」、すなわちアラブの独立を約束した「フセイン・マクマホン協定」、英仏ロ3国で旧オスマン領を分割する秘密の約束「サイクス・ピコ協定」、ユダヤ人に民族的郷土を確保すると約束した「バルフォア宣言」が問題の根源にあって、解決をむずかしくしていることなどを学んだ。(受講者43人)

受講者からは、「冷戦から義勇軍の成り立ち。9.11を初めとしたテロへの繋がり、時代に流されたさびしさを感じました。何か違っていたら変わっていたかもしれない。そうならないように、歴史を学ぶことは大事な事だと思いました。」また、「イスラム教について、スンニ派・シーア派・文化・考え方が初めてとてもクリアになりました。パレスチナ問題も少し頭の中で整理できました。とてもわかりやすく、面白い講義でした。日本とのつながり、日本の立ち位置もわかり、勉強になりました。」などの声が寄せられた。

なかには「八丈島に1週間旅行に来ています。温泉でポスターを見て参加させていただきました。ビジターにも快く参加させていただきましたありがとうございます。(女性・30代・神奈川)」という感想もあった。

この講座は、八丈町教育委員会の後援、七島信用組合の協賛をいただきました。また、ポスターの掲示に協力いただいたお店のみなさんにも紙面を借りてお礼申し上げます。

講座で使われたスライドのコピーをご覧いただくことができます。詳しいことは八丈島文化協会にお尋ねください。



第92回 “あびの実”公演 第23回 “あびの実”子どもまつり

コマのたけちゃんのおそぶあそび 5/6

大型連休の最終日。お天気は快晴。

午後の三小体育館には、コマやけん玉で遊びたい子どもたちが集まりました。その数、大人も合わせて約100名。次々と繰り出す必殺技、たけちゃんトークを堪能しました。

2つのコマを大小2本の刀のきっさきに移動させたり、はたまた、同じく2つのコマを同時に投げ上げ、ヒモで受け止め交差させ・・・これぞ、選手権で優勝した技なのですが、複雑すぎて説明できません。

何回ものアンコールの最終は、体育館ではできない技。中国のお椀型コマをたかーく(5階建てビルぐらい?) 投げ上げて受け止めます。しかし外は晴れていても上空では強風が!! かるーいコマは流されて～～ たけちゃん、ごめん、あなたのせいじゃないからね。

残りの1時間は子どもたちがあそぶ番。簡単そうに見えても、実際にやってみると苦戦するんです。コマは数百種類、けん玉では2万種類以上の技があるそうで、あそびの奥行きは計り知れません。広いグラウンドなんて不要、指導する大人もいない、小っちゃい空間と安い遊具があればすむ。日本の津々浦々の小さな路地裏で“昭和のあそび”に熱中する子どもたちの歓声を聞きたいものです。



芸能の祭典 「八丈名流祭」

日時 5月20日(日)10時開演(9時30分開場)
会場 八丈町多目的ホール「おじゃれ」

「八丈名流祭」が5月20日、八丈町多目的ホール「おじゃれ」で開催されます。毎年秋に、東京新聞事業部の主催で浅草公会堂で開かれている「名流祭」を八丈で開催するもので、島外から各流派、会派の家元と弟子の方々が来島。檜流八丈會会をはじめとする島内の日本舞踊の会も出演し、新舞踊や大正琴を披露します。八丈太鼓や黄八丈の紹介なども予定されています。協会は、主催構成団体の1つとなっています。みなさまのご来場をお待ちしております。

出演 舞踊＝新玉流家元・新玉千代香、華雅流家元・華雅かおる、瑞穂流宗家・瑞穂扇梢、芽桜流宗家・芽桜寿千代、若柳流美亀耀会会主・若柳美亀耀、檜流八丈會 ほか(順不同)

大正琴＝錦正流家元・吉岡錦正 ほか

主催 芸能の祭典 八丈名流祭連携協議会

<構成団体> 八丈町、一般社団法人八丈島観光協会、八丈島文化協会、東京新聞公益財団法人東京観光財団